

'06.11

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行所 兵庫県商工会連合会  
発行人 会長 土谷正男  
神戸市中央区花隈町6の19  
☎神戸(371)1261(代)〒650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 澤田 功  
印刷所 大和出版印刷株式会社  
会員の購読料は会費に含んでおります

第 591 号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



## Contents

- 県連合会Letter 2～3頁
  - ・ 第四回正副会長常任理事会
  - ・ 第一回商工会新融資制度創設研究会 他
- 商工会Letter 4～5頁
  - ・ 丹波篠山フィルム・コミッション設立
  - ・ 南あわじ市商工会  
第二回ビジョン策定委員会
  - ・ わっくわくぶらり市  
(大河内町・青年部)
  - ・ あきんどキッズ(社町・青年部) 他
- 特集!! やさしい決算書の読み方 6頁

## 余部鉄橋 最後の勇姿

香美町香住区余部にある鉄橋。JR山陰本線の鎧駅と余部駅との間に位置しています。全長310.7m、橋脚の高さ41.5mで、トレスル式鉄橋としては日本一の規模を誇り、山陰本線の名物です。鉄橋は、余部集落をまたいで東西の山に架け渡され、東側に東下谷トンネル、西側に餘部駅があります。

明治42年12月着工。アメリカより輸入した鉄材を使用し、機械力の乏しい前近代的工法の中にあつて、当時最高の技術を駆使。明治45年1月に完成しました。

明治45年の竣工から90余年。町のシンボルとして、偉大な産業遺産としてその役割を果たしてきた余部鉄橋も、安全性、定時制の確保のため、新しいコンクリート橋へ架け替えられます。この架け替え工事は来春(平成19年3月頃)から始まる予定です。

## 第四回 正副会長常任理事会

県連合会は、九月二十七日、県商工会館において「第四回正副会長・常任理事会」を開催し、次に掲げる議案を協議した。

**第一号議案** 当面の諸課題について

土谷会長の静養に伴い、当分の間副会長六名で補佐することになった。

**第二号議案** 理事会(書面決議)の開催について

商工会統一諸規程「育児休業及び介護休業等に関する規程」、

前者は、「時間外労働の制限」に関する条文の整理統合を提案するもの。後者は、市町合併に伴う行政エリアの変更等に伴い、「旅費規程」別表一を改正するもの。

何れも、承認が得られれば、規程改正を十月一日より適用する。

## 「商工会部会」の発足

九月十三日、兵庫県議会議事室において、県連合会正副会長七名と商工議員連盟参加議員二十三名が参加して「商工会部会」の設立会を開催した。

出席議員からは、商工会活動が地域の活性化に無くてはならない存在であるという共通認識を背景に、今後の商工会のあるべき姿「自立した商工会」に生まれ変わるために、具体的な要望案を示して欲しいという意見

が出され、今後、連合会で十分に協議検討していくこととなった。

尚、当部会の役員には永田部会長(南あわじ市選出)、前川副会長(神崎郡選出)、石川幹事長(丹波市選出)が選任され、運営委員として石川幹事長、丸上議員(美方郡選出)、藤本議員(朝来市選出)、藤田議員(養父市選出)が就任されることになった。

## 第二回 商工会・合併推進本部会議

(今後の対応策について協議)

県連合会は、去る九月十五日(金)、県商工会館で第二回「商工会広域・合併推進本部会議」を開催した。

当日は、本部長の澤田専務理事をはじめ、七月一日付けで再編成した推進本部員が出席し、兵庫県内商工会の合併協議に関する状況報告があり、今後の対応策等について協議した。

具体的な協議内容については、平成十九年四月一日合併予定の

商工会とこれに併せた会館改修の補助金要望の状況。

また、合併協議において課題のある地区、さらには協議自体が停止状態の地区への対応等や、それに係る共催事業での支援のあり方等について協議した。

特に承認が保留となっていた共催事業については、来る九月二十七日に第二回目の振興協議会を開催し、再検討することによって合意した。

### 11月は適正計量を推進する月間です

消費生活に関連の深い計量について「くらしと計量展」を開催します。

内容：計量器の展示、計量ゲームなど

日時・場所：11月10日(金)～11日(土) アイティ(豊岡市)  
11月17日(金)～18日(土) コープデイズ相生(相生市)

#### 食料品販売店の皆様へ

消費者が安心して買い物ができるよう、正しい計量に努めてください。  
兵庫県産業労働部産業振興局商業振興課 (電話078-362-3344)

### 主な行事予定

## 12月のいよみ

1日(金)	容器包装リサイクル法研修会
6日(水)	(神戸市・パレス神戸) 正副会長・常任理事会
8日(金)	(県商工会館) 県女性連正副会長・常任理事会、理事会
13日(水)	(県商工会館) 商工会記帳専門研修会
15日(金)	(神戸市内) 県青連正副会長・常任理事会、理事会
22日(金)	(県商工会館) 人事管理委員会・専門委員会
	(県商工会館) 理事会(県商工会館)

私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩いていく、地域金融機関です。

ご融資の相談は

お気軽に「けんしん」へ

■詳しくは窓口へおたずね下さい。



いまでも、これからも、いつまでも  
**兵庫信用組合**

〒650-0023 神戸市中央区栄町通3-4-17  
TEL 078-391-6315  
http://www.hyogokenshin.co.jp/

住友生命

貯めて、使える。

保険を超える保険

LIVE ONE

スミセイ総合生活口座 | ライブワン |

## 金融支援のあり方について模索 第一回 商工会新融資制度創設研究会

県連合会は、九月二十二日、県商工会館において「平成十八年度第一回商工会新融資制度創設研究会」を開催した。

同研究会は、従来の融資制度から脱皮した金融支援のあり方について模索するとともに、その具体化に向けた検討を行うため、昨年度から設置された。

十七年度は商工貯蓄共済の拡充案を検討したが、当初の目的に沿った成案が得られなかったことなどから、今年度は、県立

大学の佐竹教授を委員長に検討を継続する事となった。

当日の研究会では、昨年度の総括、新制度のあり方についての提案、今後の進め方についての議論が行われ、次のことが確認された。

- ①商工貯蓄共済とは切り離し、他制度とは異なる融資とする
- ②地域活性化とともに商工会の基盤強化につながる制度を目指す
- ③商工会独自の認定基準（いわゆる「第四回から第六回は、前出の田中氏による「経営革新のための視点」「経営革新のための分析（前編）」「同（後編）」の講義・グループ実習が夫々行われた。

### 経営革新塾inたじま

県連合会では、九月の毎週土曜日に、養父市商工会養父支所において、第二回から第六回の経営革新塾を開催した。第二回は、塾主任講師のイグレット代表・アクシオンプランナー・田中洋介氏による「経営理念・ビジョンの明文化」、第三回は、(有)レイバー代表取締役・社会保険労務士・小牧義昭氏による「経営革新をするための組織づく

り」、第四回から第六回は、前出の田中氏による「経営革新のための視点」「経営革新のための分析（前編）」「同（後編）」の講義・グループ実習が夫々行われた。

毎回、平均二十二名が参加し、自社や業界の将来を見据え、危機感をもって経営革新に取り組んでいる。

今後は、残り四回の塾において経営革新計画の完成を目指していくが、塾の閉講後もシニアアドバイザー事業等によるフォローアップを行う予定である。

ゆる「日利き制度」の確立を目指す

なお、十一月十三日に開催される第二回研究会では、これら二つのことを基本に、より踏み込んだ検討を行う予定にしている。

### 兵庫県洋上大学

(県下より四名の職員が参加)

九月十五日から二十三日までの九日間、兵庫県洋上大学が開催され、県下商工会職員等四名が参加した。

本事業は将来の地域づくりを担う青年部リーダーの育成を目的としており、洋上大学生九十二名と県下一般参加者約三百名を乗せ、目的地の中国に向け神戸

### 県青連

正副会長・常任理事会  
理事会

県商工会青年部連合会（仁部徹会長）九月十二日県商工会館にて、正副会長・常任理事会、並びに理事会を開催。

理事会では、全ての提出議案が承認された。

特に第三号議案では、青年部地域間交流促進事業として県下の十青年部（三田市と香住町、

戸港を出港した。

船内での洋上大学生の事業は「ひょうご県民交流の船」三世交代交流プログラム等を企画・運営し県民との交流を図り、講演会では、オスマン・サンコン氏を講師に迎え、ギニアと日本の文化の違いについての講義があった。

また、井戸県知事との懇談会が設けられ、県政について詳しく学ぶことができ、大変有意義なものであった。

一方、中国ではホームステイや企業視察、蘇州大学の学生との意見交換で交流を深め異文化の理解と国際交流の重要性を学んだ。

黒田庄町と市島町、大河内町と上郡町、但東町と五色町、朝来町と津名町）が地域を越えた交流を行うこととなった。

また、第五号議案では商工会カードの加入促進を図る為、県青連役員と青年部長の加入を図ることが決定された。

### 短信

- ◆九／一 基本問題研究会
- ◆九／二七 表彰審査委員会

FJB

株式会社 富士通ビジネスシステム

神戸支社

〒650-0027 神戸市中央区中町通2-1-18  
(日本生命神戸駅前ビル)  
TEL (078) 371-0831

わたしたちジブラルタ生命が、  
サポートいたします。

商工貯蓄共済制度



# 丹波篠山フィルム・コミッション設立 (篠山市商工会)

篠山市商工会では映画やテレビなどのロケ撮影を誘致したり撮影に協力する「丹波篠山フィルム・コミッション(F.C)」の設立総会を九月二日、篠山市今田町の兵庫陶芸美術館で開催した。



▲高橋伴明氏&田中まこ氏のトークショー

国でも県や市町などの自治体などの非営利組織を母体として現在九十五団体が設立され、映像誘致による地域活性化に大きく貢献している。

設立会議で会長に山内文男商工会長が就任。設立母体を篠山市、篠山市商工会、丹波篠山観光協会の三団体で構成し、事務局を商工会西紀分所に置くことが決まった。

午後からは一般市民を招待しての記念セレモニーが開催され、記念講演会では神戸フィルム・オフィス代表の田中まこさんが「地域活性化とフィルム・コミッ

ション」と題して講演し、「成功のためには市民への理解と参加が必要」と呼びかけた。

実在する信楽焼の女流陶芸家で息子の発病をきっかけに骨髄バンク運動を始めた神山清子さんを描いた映画「火火」の上映に続き、同作品の監督である高橋伴明さんと田中さんによるトークショーが行われた。

テーマは「映画への情熱と地域とのかかわり」。撮影秘話や高橋監督が「撮影地やエキストラ探しから交通整理まで住民が主体的にかかわってくれた」と紹介。「まずは映画を好きになっ

てほしい」と熱い思いを語った。同F.Cは近く「全国フィルム・コミッション連絡協議会」にも加盟し、広く全国に篠山を知ってもらおうことからはじめ、新しい手法での地域活性化を模索していく。

# フィリピン・マニラ市等の視察研修 (阪神地区商工会連絡協議会)

阪神地区商工会連絡協議会では、初めての海外研修として九月八日～十一日までフィリピンのマニラ市、マカティ、ケソン市などを訪問した。

四商工会から十名の役職員が参加し、当地の商業の実態等について、熱心に視察を行った。まず、ジェットロマニラの主席アドバイザーの経済や国民性について等の説明を受けた。

ランゲージセンターでは、代表のミッシェル・アン氏から、国際力を高めるためアメリカの標準英語を基本にコンピュータを使ってクイズを解くように、楽しく英語の発音が学べるシステムについて説明を受けた。

また、東洋一のショッピングセンターとの触れ込みの「MALLOFASIA」を視察。海外出稼ぎ者から仕送りに頼っているこの国にこれだけの購買力があるのか疑問であったが、蓄えを残さない国民性か人は溢れていた。モンテンルパにある日本人墓地、ここは時間が止まって先の戦争の痕跡が色濃く残っていた。

視察を通じこの国は、確かに貧富の差が激しく、九割の人が都市ガスのない生活をしているという。海外に出稼ぎ者に頼らず、自国にもっと産業を興し、雇用先をつくらなければ、国は富まないとと思う。ただ、子どもや若者が多いのは救いだ。今の国に必要なのは強いリーダーシップであると感じた。



▲JETRO (ジェトロ) マニラの主席アドバイザー辻一郎氏を囲んで

# 県ソフトボール大会 篠山市商工会青年部が優勝

県商工会青年部連合会(仁部徹会長)が主催する第四十一回兵庫県商工会青年部ソフトボール大会が、九月十八日、豊岡市日高町の「但馬ドーム」において、谷衆議院議員、藤田県会議員をはじめ、多数の来賓を迎え盛大に開催された。


県下各ブロックの代表と前回優勝チームの朝来町商工会青年部、ホストの養父市商工会青年部の計十チームが参加。各試合とも熱戦が繰り広げられ、決勝戦は、安富町商工会青年部と篠山市商工会青年部が駒を進め、篠山市商工会青年部が優勝を飾った。



▲優勝した篠山市商工会青年部

なお、本年度より各青年部員の交流の輪が広がるため、養父市商工会青年部が中心となり模範店の出店を行った。

**平成18年  
事業所・企業統計調査**  
ご協力ありがとうございました。



調査票への記入・回収に際しましてはお忙しいところありがとうございました。

集計した結果はこれからのまちづくりに役立ちます。

総務省統計局 兵庫県 市町

**南あわじ市商工会  
第二回ビジョン策定  
委員会開催  
（商工会の中長期ビジョンを協議）**



▲商工会の組織のあり方を議論

南あわじ市商工会（志智宣夫会長）は去る八月三十一日、第二回南あわじ市商工会ビジョン策定委員会を、南あわじ市商工会館で開催し、学識経験者を含む委員十四人が参加した。

同商工会は、平成十八年四月一日に三原町・西淡町・南淡町・緑町の四商工会の合併により新設され、合併を機に、商工会の使命を再認識し、組織のあり方を抜本的に見直すために本委員会を設置した。

委員会では、同商工会の組織・事業・財源等についての現状把握を行い、今後進むべく方向を明確にするための中長期ビジョンの策定について、今回は、次

の二点について重点的に議論された。

一、経営資源の再点検を行い、商工会は会員企業によって支えられているという視点を維持しながら、中長期視点からあるべき未来像を示す。

二、現状で陥る恐れのある「成り行き経営」から「戦略的経営」への方針転換を行うこと、特に費用対効果による成果確認を常時行いながら、事業を推進することで活力ある組織を作り上げること。

以上をテーマに、ビジョンの策定とそれを達成するための組織改革案を策定する。

また、同委員会は、平成十九年二月までに五回の開催を予定しており、議論内容を「南あわじ市商工会ビジョン策定事業報告書」としてまとめる予定である。

**近畿ブロック  
商工会女性部交流会**

九月七・八日、奈良県・奈良市において、平成十八年度近畿ブロック商工会女性部交流会が開催された。同交流会には本県から県女性連役員等五十二名が参加した。

各府県連代表による事業活動

事例の発表をメインに、創業支援事業による活動など様々な女性部活動の発表があり、本県からも、芦屋市の根津けい子氏が、ITを活用した新たな事業展開の活動発表をした。

また、全国女性連会長の及川ユキ子氏から「支え合いの気持ち、和を大切に！」をモットーに女性部活動への取り組みについてや、ご当地の明日香村ボラティアガイド等を務める田村実氏による高松塚の四神と陰陽五行説などから、奈良の歴史を紐解く話の他、奈良県広陵町の「地場産業の靴下製造層のリサイクル」では、実際靴下の製造層を活用して手編みで小物作りの実習をし、盛りだくさんの研修内容で二日間の日程を終えた。

**商店街活性化事業  
わつくわくぶらり市  
「絶叫大会」開催！  
（大河内町商工会青年部）**

大河内商工会青年部（藤原晃一郎部長）は、十月二十九日寺前商店街界隈で「絶叫わつくわく大声コンテスト世界大会？」を開催する。

内容は抽選にて指定されたことばをヘリウムガスを吸って大声で叫ぶもので、世界大会の名

**あきんどキッズ  
（社町商工会青年部）**

社町商工会青年部（山田克明部長）は、十月一日、第六回「あきんどキッズ」を開催した。

同事業は、ビジネス体験を通じて子供達の創意工夫や行動力を養い、新しいことにチャレンジする精神、将来の起業意欲の高揚を目的としており、五十八名の小学生が参加した。

開校式では、同商工会の小林勝弘会長より、「チームワークが大切、夢をつくって欲しい」と挨拶。

当日は、コーディネートに中小企業診断士の細川祐三氏を、また、兵庫教育大学生を指導スタッフに迎え、参加者を九グループに別け、事業計画書の作

のとおり、外国人の参加もあり、商品としてUSJペアチケットや秋の味覚松茸などを用意し、当日の飛び入り参加も受け付ける。

同商工会女性部も、もちつき大会を行い、当日来場者につきたてのお餅を振舞う。

また、かもレース、とんぼ道中、人力車による花嫁道中、ビンゴゲームなど盛りだくさんの催しを行う。

成、事業立上げ準備を行った。なお、来る十一月五日には、やしろメモリアルガーデン（加東市菊まつり会場）にて、模擬体験として各グループでの事業計画に基づき商店を開店し、実際に商品の販売を行い、決算を行う。収益があがった場合は、一部を社会福祉団体へ寄付、損出が出た場合には、簡単な奉仕作業を行うこととしている。

**大阪国際空港での阪神北  
地域インフォーメーション  
（川西市商工会・猪名川商工会）**

大阪国際空港には、年間千八百万人の乗降客があるにもかかわらず、空港に隣接する阪神北地域がPRされていなかった。

そのため、のじぎく兵庫国体のじぎく兵庫大会が開催される十月の一ヶ月間、大阪国際空港南ターミナルビル内において阪神北地域のインフォーメーションを設置し、空港利用者等に対し、観光・物産品等を広くPRしていく。



▲特別販売コーナー

# やさしい決算書の読み方 —健全経営実現のために—

社長さん、自社の経営状態を正しく把握するために決算書を読んでいきますか。税理士さん任せにしませんか。数字だけを見て一喜一憂していませんか。

決算書を項目別に読んでみて下さい。色々と問題点が見つかるかもしれません。どのくらい儲けているのかを読むのが損益計算書(P/L)です。売上など入ってきたお金から仕入や経費など使ったお金を差し引いた差額がプラスなら利益(Profit)、マイナスなら損失(Loss)が見える重要な書類です。

利益は売上総利益、営業利益など五段階で表記されます。税引前利益とか当期純利益がプラスなら利益があがっていると判断できますが、経営の健全性からすれば五段階の利益が全てプラスであることが理想の形です。

儲かるかどうかの根本は、売上総利益の確保です。売上原価以外の費用の全てを賄える粗利益が必要です。十分な粗利益が確保できない場合は対策を講じる必要があります。例えば、売上増を図る、売上原価を下げる、

無駄な費用の減少に努めるといった手法があります。五つの費用の中に、何か問題と考えられる無駄なものがないか内訳をチェックする必要があります。売上総利益を検討した上で、人件費をはじめとする経費削減に努める、支払利息の軽減を図るなど、全体的な支出を抑えることも利益アップにつながります。何でも切り詰めればいいというものではなく、全体のバランスを考えながら、自社に適した対策をとることが大事です。

次に、会社の資金の調達状況及び運用状況を示す貸借対照表の構造を見てみると、資産、負債、資本から構成されています。貸借対照表の左側(借方)の資産の部に記載されているのは、お金がどのように運用されたかを示したもので、さまざまに形を変えた会社の全財産です。現在、経営の安定化を図る努力も

金や預金のようにすぐ使えるものもあれば、土地建物や設備のように事業活動の根拠となっているものもあります。どういう種類の資産がどのくらいあるかを把握しておくことが事業活動を続けていくうえで重要です。右側(貸方)の負債の部には資産を形成するにいたったお金のどのように調達したかが記載されており、他人資本とも言われています。

早期返済の流動負債、長期返済の固定負債についてはしっかりと把握して確実な返済計画を立てて実行していく必要があります。その一方で、経営の元手である自己資本をできるだけ充実させる、経営の安定化を図る努力も

必要です。表に出た数字を見るだけでなく、各項目の内容をチェックすることが重要です。例えば、商品や原材料の在庫が適切かどうか、もしそれが眠ってしまっているなら資産どころかお荷物になりかねません。

損益計算書(P/L)  
(数字は参考金額・単位千円)

科目	金額	
1.売上高	50,000	
2.売上原価	37,500	← 製造業では製品製造のための原材料費や経費。卸小売では商品の仕入代金など
3.売上総利益	12,500	← 1-2で算出
4.販売費及び一般管理費	10,000	← 人件費、販売経費など事業活動を行うために必要な経費のことです。
5.営業利益	2,500	← 3-4で算出
6.営業外収益	2,000	← 受取利息、雑収入など
7.営業外費用	2,500	← 支払利息、雑損失など通常事業活動のないところで発生する費用のことです。
8.経常利益	2,000	← 5+6-7で算出
9.特別利益	500	← 固定資産売却利益など
10.特別損失	1,000	← 株式の売却損など通常の事業活動と関係のない特別にまたは臨時に発生したものです。
11.税引前当期利益	1,500	← 8+9-10で算出
12.法人税地方税	600	← 会社の利益に係る税金です。これを支払うことにより当期純利益が決定します。
13.当期純利益	900	← 11-12で算出

貸借対照表  
(数字は参考金額・単位千円)

科目(借方)	金額	科目(貸方)	金額
(資産の部)		(負債の部)	
[流動資産]	[150,000]	[流動負債]	[92,500]
現金当座普通預金	10,000	支払手形	25,000
定期預金	25,000	買掛金	42,000
受取手形	28,000	短期借入金	15,000
売掛金	42,000	未払金	5,000
繰上入金	35,000	その他	3,000
振込金	4,000	未払法人税等	2,500
(固定資産)	[110,000]	(固定負債)	[68,500]
(有形固定資産)	(82,000)	長期借入金	65,000
建物・建物付属設備	38,000	長期借入金	65,000
建物・什器備品	12,000	入保保証金	3,500
土地	32,000		
(無形固定資産)	(100)		
特許権	100		
(投資等)	(27,900)		
出資金	3,000		
保険積立金	15,000		
投資有価証券	7,000		
その他	2,900		
資産合計	260,000	負債合計	161,000
		(資本の部)	[35,000]
		利益剰余金	[64,000]
		利益剰余金	5,000
		繰上積立金	35,000
		退職積立金	15,000
		当期末処分利益	9,000
負債資本合計	99,000		
資本合計	260,000		

流動負債  
原則として1年以内に支払、返済しなければならない債務です。流動資産の2/3以下が目安です。

固定負債  
長期借入金は経営上欠かせませんが、他人資本は少ないことにはなりません。返済計画はどうか十分チェックしましょう。

資本  
総資本(負債、資本合計)に占める自己資本の比率が高いほど会社の基盤は安定します。自己資本の充実が必要です。

負債資本合計  
会社の経営に使っている全ての資金の合計金額です。

必ず決算書を読んで健全経営を目指しましょう。

連合会チーフアドバイザー  
山本 雄三